



鹿児島県立薩摩中央高等学校 高等学校DX加速化推進事業

DATE:

令和8年6月19日

Topic:

農業工学科 2 年生「農業機械」研究授業を実施しました

農業工学科 2 年生の「農業機械」の授業にて、デジタル機器を活用したトラクタのオイル交換実習を行いました。

農業現場や実習における DX の目的の一つは、これまで見えにくかった熟練の技術や複雑な構造をデジタル技術で可視化(データ化・映像化)し、誰もが安全かつ効率的に技能を習得できるようにすることにあります。

今回の公開授業では、構造上どうしても死角になりやすいトラクタの底面に小型カメラ (GoPro) を設置し、作業の様子をモニターへリアルタイムで配信しました。これにより、従来は一人の教員の手元を覗き込むしかなかった作業も、生徒全員が同じ視点で「オイルドレンの位置」や「安全な工具の使い方」を同時に観察・理解できるようになりました。

生徒からは「見えづらかった部分がはっきり見えて、作業のイメージがつかみやすかった」といった声が上がっており、視覚的な理解が安全作業と技能定着に大きく繋がることを実感できる授業となりました。

参観された先生方からは「死角の多い実習におけるデジタル活用として非常に参考になった」「生徒全員が同じ視点で安全かつクリアに手諸を確認できる点に DX の大きな可能性を感じた」などのご意見をいただきました。

